

仁淀川下流衛生事務組合衛生センター建設工事の 技術提案仕様書等に関する質問回答書

様

仁淀川下流衛生事務組合 総務係

令和7年11月5日付で各社から提出のあった仁淀川下流衛生事務組合衛生センター建設工事の技術提案仕様書等に関する質問に対して以下のとおり回答いたします。

No.	資料名	頁	項目	質 問 内 容	回答内容
1	技術提案仕様書	3 8	第1章 第1節 5 工事場所 第1章 第2節 5 立地条件	建築基準法第51条において汚物処理場を建築する場合、都市計画においてその敷地の位置が決定されていなければなりません。計画敷地においては位置決定がなされており、建築基準法第51条ただし書き許可は不要との認識でよろしいでしょうか。	計画敷地は、既存敷地を含め、土佐市の都市計画において、位置決定されています。 従って、建築基準法第51条ただし書きによる許可には該当しないと考えます。
2	技術提案仕様書	3 8	第1章 第1節 5 工事場所 第1章 第2節 5 立地条件	高知県全域(岩礁および無人島を除く)において盛土規制法による宅地造成等工事規制区域又は特定盛土等工事規制区域を指定していますが、計画敷地はいずれに該当するのでしょうか。また、許可に関する協議をされているのか否かご教授願います。	当該箇所は宅地造成等工事規制区域に含まれますが、本施設が高知県都市計画課との事前協議により、省令第1条第2項(廃棄物処理施設)に該当することから適用除外であることを確認済みです。
3	技術提案仕様書	5	第1章 第2節 1 全体計画 (7)	生活環境影響調査(環境アセスメント)の結果をご教示ください。	閲覧期間を延長しますので、閲覧等を希望する場合は事務局に申し出てください。
4	技術提案仕様書	6	第1章 第2節 1 全体計画 (25)	スペースが不足した時、事業所予定地付近でお借りできる敷地がありますでしょうか。 有償の場合は費用をご教授ください。	本組合は、事業予定地付近における土地利用状況の情報を有していないため、敷地が必要な場合は受注者にて調達してください。
5	技術提案仕様書	6	第1章 総則 第2節 3.安全衛生管理(作業環境保全) (5)	ブロワ、コンプレッサー等、機側1mで80dBを超えるものは吸音工事が施工された部屋に設置することで、減音対策として考えますがよろしいでしょうか。専用室内では、適切な保護具を着用いただき作業等を実施いただくことになります。	お見込みのとおりです。

No.	資料名	頁	項目	質問内容	回答内容
6	技術提案仕様書	10	第1章 第3節 1 適用範囲 (2)	「本組合及び受注者とも事前に予知できない事項については、協議により対処する。」とありますが、以下のような事例等が含まれると考えてよろしいでしょうか。 ・提示されているアスベスト調査結果以外の場所で検出された場合 ・提示されているアスベスト、ダイオキシン、土壤調査結果以上の汚染濃度が検出された場合 ・想定されない箇所から有害物質（PCB、水銀、フロン等を含む）が検出される恐れがあり、調査・処分が必要となった時 ・提示されている地質調査報告書の結果と受注後に実施する地質調査結果が著しく異なるとき ・監督官庁指示による追加工事 ・提示されている資料から判断できない大規模な障害物や埋設物が見つかった時 ・受注後の開発協議の変更にて、残置物に対する指示や補強、擁壁の指示があった場合 ・受注後の開発協議が想定以上（提出する工程表）長期化した場合	いずれもお見込みのとおりですが、受注者の責によるものを除くものとします。
7	技術提案仕様書	11	第1章 第3節 3 変更 (4)	これまでに実施された開発協議の資料を参考資料としてご提供いただくことは可能でしょうか。 例：協議資料、議事録等 P144 第7章 1 敷地造成工事 (2) 同様	開発協議は、令和7年12月中旬に終了する見込みであることから、開発協議資料については、その時点で開示するものとします。
8	技術提案仕様書	11	第1章 第3節 3 変更 (4)	解体時の残置物を残置できる条件についてご教授願います。	地下工作物の残置の条件は、令和3年9月30日付で環境省より通知された「第12回再生可能エネルギー等に関する規制等の総点検タスクフォースを踏まえた廃棄物の処理及び清掃に関する法律の適用に係る解釈の明確化について」の第3地下工作物の取扱いの③に示される <u>地盤の健全性・安定性を維持する又は撤去した場合の周辺環境への悪影響を防止することができる場合</u> とします。
9	技術提案仕様書	11	第1章 第3節 3 変更 (4)	都市計画法に基づく開発協議に関する「協議結果の通知（細則第23条）」について、すでに受領済という認識でよろしいでしょうか。	現在、協議終了に向け、諸手続きを続けているところです。

No.	資料名	頁	項目	質問内容	回答内容
10	技術提案仕様書	18	第1章 第5節 1 試運転 (1)	部分完了検査時に性能試験を実施して部分引き渡しをするものとし、正式引き渡し時には付帯設備の運転確認を実施し、汚泥再生処理棟の性能試験を再び実施することは不要と考えてよろしいでしょうか。	お見込みのとおりです。
11	技術提案仕様書	19	第1章 第5節 3 経費分担 (4)	種汚泥の移送に関わる経費は受注者の負担と考えてよろしいでしょうか。	お見込みのとおりです。
12	技術提案仕様書	19	第1章 第5節 3 費用分担 (5)	非常用発電機に使用する燃料も同様の考え方でよろしいでしょうか。	お見込みのとおりです。
13	技術提案仕様書	19	第1章 第5節 3 費用分担 (6)	様式7-5-2にある通り、保証期間中の法定点検費についても負担するものと考えてよろしいでしょうか。	法定点検費は、受注者の負担から除くもの(本組合の負担)とします。
14	技術提案仕様書	19	第1章 第5節 3 費用分担 (6)	該当する費用は様式8-1建設事業費内訳書において、どの項目に記載すればよろしいでしょうか。	定期補修等の費用は、様式7-5-2に計上してください。 様式8-1には、その他工事費の1. その他工事の欄に「5) 保証期間の定期点検費」の項目を追加して記載してください。ただし、受注者の責による不具合の修理費等は除くものとします。
15	技術提案仕様書	20	第1章 第6節 1 引き渡し (1)	汚泥再生処理棟の供用は令和11年7月とありますが、部分引き渡し日は令和12年3月31日までとあります。これは、令和11年6月30日と読み替えてよろしいでしょうか。	事業スケジュールを【添付資料①】に示します。 汚泥再生処理棟の供用開始は令和11年7月1日を目処とし、令和11年6月30日までに性能確認試験を行い本組合の部分完成検査の合格をもって部分仮引渡しを行うものとします。計画施設の建設工事または現施設の解体・撤去工事に要する期間の関係で、これを変更したい場合は本組合との協議により日程調整を行い、部分引渡し日(令和12年3月31日)までに行うものとします。 以上より、技術提案仕様書を以下のとおり読み替えてください。 【技術提案仕様書p3 8 工期(予定) 4行目】 ただし、計画施設のうち汚泥再生処理棟の供用開始は令和11年7月1日を目処とする。 【技術提案仕様書p20 第6節 1 引き渡し (1) 新施設本体の部分引き渡し 3行目】 部分引き渡しは令和12年3月31日とする。受注者はこの日までに性能試験を実施し、・・・ 【技術提案仕様書p20 第6節 1 引き渡し (1) 新施設本体の部分引き渡し 5行目】 なお、令和11年度途中に部分完成検査が完了した場合には・・・
16	技術提案仕様書	20	第1章 第6節 1 引き渡し (1)	部分仮引き渡しを行った場合、部分引き渡し日までの運転調整期間の用益費の負担は不要と考えてよろしいでしょうか。	お見込みのとおりです。

No.	資料名	頁	項目	質問内容	回答内容
17	技術提案仕様書	20	第1章 第6節 1 引き渡し (1)	部分仮引き渡しを行った場合、部分引き渡し日までの運転調整期間の施設の管理責任は負わないものとして考えてよろしいでしょうか。	部分引渡しを行った範囲はお見込みのとおりですが、本組合の要請があった場合は受注者の負担にて適時運転指導をおこなってください。
18	技術提案仕様書	20	第1章 第6節 1 引き渡し (1)	部分仮引き渡しを行った場合、保証期間や瑕疵期間などはこの日より考えるものとしてよろしいでしょうか。	部分仮引渡しを行った工事範囲の保証期間や瑕疵期間の開始は、部分引渡し日(令和12年3月31日)を起点とします。
19	技術提案仕様書	20	第1章 第6節 2 保証 (2)	汚泥再生処理棟の供用開始に必要な構内道路など周囲の付帯工事は部分引き渡しの対象と考えてよろしいでしょうか。	新規用地の付帯工事部分で完成検査(出来高検査、完成図書を含む)に合格した部分は、部分引渡しの対象とします。
20	技術提案仕様書	38	第2章 第2節 2 搬入出車仕様 (2) 沈砂運搬車	沈砂除去洗浄装置でフレコンパックに貯留した沈砂は当該車両にて吸引されるものとし、ダンプ車による搬出を想定したチェーンブロックなどの積込み装置は不要と考えてよろしいでしょうか。	お見込みのとおりです。
21	技術提案仕様書	40	第2章 第5節 2 騒音	騒音、振動、悪臭各基準値の記載がありますが、本工事範囲外の原因での基準超過は責任の範囲外と考えてよろしいでしょうか。	お見込みのとおりです。
22	技術提案仕様書	44	第2章 第7節 1 各設備共通事項 (10) ア	機械基礎を共通とすることで維持管理性をより確保できる場合、共通とする計画としてもよろしいでしょうか。	お見込みのとおりでも可とします。
23	技術提案仕様書	44	第2章 第7節 1 各設備共通事項 (10) エ	受入室やホッパ室に配置する汎用機器(チェーンブロック等)は、塗装仕様の変更が困難な場合、メーカー標準塗装によるもので計画してもよろしいでしょうか。	お見込みのとおりです。
24	技術提案仕様書	45	第2章 第7節 1 各設備共通事項 (10) シ	彩色は、第2章第7節3 (7)にある帯状の塗装等同等と考えてよろしいでしょうか。	お見込みのとおりです。
25	技術提案仕様書	45	第2章 第7節 2 機械設備 (1) ア	採用するメーカーの標準品が仕様の方式と異なる場合、相当品である理由書をもって採用することは可能でしょうか。	問い合わせの機器の採否については、本工事の受注者と本組合との協議により決定するものとします。
26	技術提案仕様書	45	第2章 第7節 2 機械設備 (1) イ	水中ポンプやラインポンプ、ポンプユニット等の機種等には防振継手を計画しないものとしてもよろしいでしょうか。	防振継手等の計画は、振動、温度の変位で生じる機器や配管の損傷等の恐れがない場合、お見込みのとおりとします。
27	技術提案仕様書	46	第2章 第7節 2 機械設備 (1) エ	2台設置のポンプにおいても、同時利用を想定しない場合、圧力計は系統につき1個としてもよろしいでしょうか。	お見込みのとおりです。
28	技術提案仕様書	46	第2章 第7節 2 機械設備 (2) イ	風量計は制御を目的としない場合、目視によるものでもよろしいでしょうか。	お見込みのとおりです。

No.	資料名	頁	項目	質問内容	回答内容
29	技術提案仕様書	46	第2章 第7節 2 機械設備 (2) イ	スカム破砕用等の非常時に使用する送風先へは、風量計を取り付けない計画してもよろしいでしょうか。	送風先別の流量計の取り付けについては、本工事の受注者と本組合との協議により決定するものとします。
30	技術提案仕様書	47	第2章 第7節 2 機械設備 (2) シ	積み込み時に車両を動かして積み込み位置を調整できるスペースをホッパ室に設けるものとして、振分コンベヤ等を設けない計画としてもよろしいでしょうか。	助燃剤等のホッパからの積み込み方法については、提案の方法を含め、本工事の受注者と本組合との協議により決定するものとします。 ※本質問の項目は、第2章 第7節 2 機械設備 (3) シに読み替えました。
31	技術提案仕様書	48	第2章 第7節 2 機械設備 (4) ク	注文ロットは1m3単位と考えてよろしいでしょうか。 また、最低注文量があればご教授ください。	お見込みのとおりです。
32	技術提案仕様書	48	第2章 第7節 2 機械設備 (4) サ	材質がPEタンクの場合、ハッチ式のマンホールが難しい場合、スクリュー式のマンホールで計画してもよろしいでしょうか。	お見込みのとおりでも可とします。
33	技術提案仕様書	49	第2章 第7節 3 塗装 (7)	機器等は協議によって定めた塗装色、配管は用途毎（汚泥、処理水、プロセス用水等）の帯状塗装とし、弁の操作部分については、メーカー標準の用途毎の彩色としてもよろしいでしょうか。	お見込みのとおりです。
34	技術提案仕様書	49	第2章 第7節 3 塗装 (7)	電気配管については、配管自体が他配管と見分けが付きやすいため、塗装は行わない計画としてもよろしいでしょうか。	お見込みのとおりです。
35	技術提案仕様書	49	第2章 第7節 3 塗装 (7)	電気配管については、名称及び矢印による流れ方向を示すことが困難であるため、対象外としてもよろしいでしょうか。	お見込みのとおりです。
36	技術提案仕様書	52	第3章 第1節 1 トラックスケール装置 (5) キ	「ボール」はカードボックスへの車両の衝突防止のために設ける理解でよろしいでしょうか。	「ボール」はカードボックスの支柱を表しています。
37	技術提案仕様書	52	第3章 第1節 1 トラックスケール装置 1.1 (5) ケ	各運搬車等とありますが、4tバキューム車以外に計量する車両があればご教授ください。 また、カードの差し込み口が1カ所に対応可能と考えられるとき、1カ所で計画してもよろしいでしょうか。	カードの差し込み口は、別添資料018. 現施設への搬入車調書を参照の上、計画するものとし、数量については、お見込みのとおりとします。
38	技術提案仕様書	52	第3章 第1節 1 トラックスケール装置 (5) ス	ポータブル型トラックスケールの納入は本工事の範囲外と考えてよろしいでしょうか。	お見込みのとおりです。
39	技術提案仕様書	53	第3章 第1節 2 受入設備 2.1 (4) ア	用具室は室とせず、受入室内に物品棚や用具入れを設ける計画としてもよろしいでしょうか。	お見込みのとおりでも可とします。

No.	資料名	頁	項目	質問内容	回答内容
40	技術提案仕様書	53	第3章 第1節 2 受入設備 2.1 (4) キ	硫化水素濃度、CO濃度を指定数値以下となるように換気・脱臭計画を行い、これらの濃度の性能試験における測定及び測定装置は不要であると考えてよろしいでしょうか。	受入室等の硫化水素及びCO等の有害ガスは、性能試験時にガス検知器や検知管法で測定し、参考値として記録するものとします。
41	技術提案仕様書	54	第3章 第1節 2 受入設備 2.3 (5) ア	臭気の拡散を防止できるもので投入作業者の作業が不要なものとして、バキューム車停車位置上部に大型フードを設けることとしてもよろしいでしょうか。	技術提案仕様書の記載事項と同等の性能が発揮されるものであれば、お見込みのとおりでも可とします。
42	技術提案仕様書	57	第3章 第1節 4 破砕装置 3 (5) カ	配管の敷設によって上部に移動装置の設置が難しい場合、門型クレーン等の納入で計画してもよろしいでしょうか。	破砕装置のメンテナンスに支障を生じる恐れがなければ、お見込みのとおりでも可とします。
43	技術提案仕様書	58	第3章 第1節 5 きょう雑物除去設備 5.1 (5) カ	インバーター制御不要で、安定処理が可能な場合、インバーターの設置は不要として計画してもよろしいでしょうか。	本設備の制御や維持管理費等に優位性が認められるようなら、お見込みのとおりでも可とします。 ※本質問の項目は、第3章 第1節 5.1 (5) コに読み替えました。
44	技術提案仕様書	58	第3章 第1節 5 きょう雑物除去設備 5.1.2 (5) ア	圧力の調整が不要な時、レギュレータを設置しない計画してもよろしいでしょうか。	レギュレータの設置の有無については、本工事の受注者と本組合との協議により決定するものとします。
45	技術提案仕様書	58	第3章 第1節 7 (5) イ 第3章 第5節 7 (6) イ	切出し装置の減速機は可変式でないもので計画してもよろしいでしょうか。	いずれも技術提案仕様書に記載のとおりとします。 ※本質問の頁は、60に読み替えました。
46	技術提案仕様書	64	第3章 第1節 12 投入ポンプ (3)	投入ラインは1系統とし、ポンプ台数を削減する計画としてもよろしいでしょうか。	投入ラインの系統数については、本工事の受注者と本組合との協議により決定するものとします。
47	技術提案仕様書	65	第3章 第2節 1 計量調整装置 (3)	除さし尿等、返送汚泥、雑排水のサンプリングと目視確認を計量槽等で行える構造とする必要はありますか。	お見込みのと通りの構造で計画してください。
48	技術提案仕様書	66	第3章 機械設備工事 第2節 3.脱窒素槽攪拌装置	脱窒素槽攪拌装置として水中ミキサーを採用しております。攪拌・曝気機能のうち曝気機能を有していないため、インバーター制御を行っておりませんがよろしいでしょうか。	水中ミキサーの制御はお見込みのとおりでも可とします。
49	技術提案仕様書	67	第3章 機械設備工事 第2節 6.曝気ブロワ	「自動弁及びインバーターを設け、空気量の調整ができるようにする」とあります。ルーツブロワのため、インバーターのみで空気量の調節を行うことでよろしいでしょうか。	お見込みのとおりです。
50	技術提案仕様書	67	第3章 第2節 7 pH調整装置 7.1 (5) ア	容量の算出には非常用の薬品を除いて計画してもよろしいでしょうか。	お見込みのとおりです。

No.	資料名	頁	項目	質問内容	回答内容
51	技術提案仕様書	75	第3章 機械設備工事 第2節 16.8. 膜洗浄ブ ロワ	「自動弁及びインバーターを設 け、空気量の調整ができるように する」とあります。 ルーツブロワのため、インバー ターのみで空気量の調節を行うこ とでよろしいでしょうか。	回答No. 49に同じ。
52	技術提案仕様書	80	第3章 第3節 1 高度処理設備 1.7.6 (4) ア	必ずしも常時1基休止で計画するこ とではなく、装置の洗浄やメンテ ナンスの際にも運転継続が行える 能力や仕様を確保すると考えてよ ろしいでしょうか。	お見込みのとおりです。
53	技術提案仕様書	84	第3章 第3節 3 活性炭吸着処理設 備 3.3.1 (4)	交互運転機は不要でしょうか。 また、常時1基休止で計画するこ とではなく、装置の洗浄や活性炭交 換の際にも施設稼働の継続が行え る仕様を確保すると考えてよろし いでしょうか。	お見込みのとおりでも可としま す。
54	技術提案仕様書	88	第3章 第5節 2 汚泥調質装置 2.2.2 (4) ア	井戸水や高分子凝集剤（ポリ マー）の性状より、SUS304で対応 可能なとき、SUS304で計画しても よろしいでしょうか。	お見込みのとおりでも可としま すが、設計の契約不適合責任（引渡後 10年間）の対象となりますので留意 してください。
55	技術提案仕様書	96	第3章 第6節 2 中濃度臭気脱臭設 備 2.1 (4) イ	風量計は風量測定口を利用して計 測する可搬型（熱線式など）とし てよろしいでしょうか。	お見込みのとおりでも可としま す。
56	技術提案仕様書	99	第3章 第6節 2 中濃度臭気脱臭設 備 2.7 (5) オ	整備時等はファンを停止するもの とし、バイパスは設けない計画 としてもよろしいでしょうか。	バイパスは必要に応じて設ける計 画とします。
57	技術提案仕様書	100	第3章 第7節 1 取水設備 1.1 (4) ア	井戸の清掃は不要でしょうか。	お見込みのとおりです。
58	技術提案仕様書	100	第3章 第7節 1 取水設備 1.1 (4) ア	「井戸水の水質に応じて」とあり ますが、判断は現在の数値である 第2章第4節1 プロセス用水 (2) に示される内容でよろしいでしょ うか。	お見込みのとおりです。
59	技術提案仕様書	104	第4章 第2節 弁類 (3)	年に数回程度の使用頻度であると 見込まれる弁については手動のも ので計画してもよろしいでしょ うか。	お見込みのとおりです。
60	技術提案仕様書	109	第5章 第1節 5 配電盤設備工事 (10)	「溶接用及び作業用電源箱を各階 の必要箇所に設ける」と記載があ りますが、各階1箇所ずつとして 宜しいでしょうか。 設置箇所にご指示がありました ら、頂けますでしょうか。	設置箇所は(10)の()書きのと おり、承諾図にて決定するものと します。
61	技術提案仕様書	109	第5章 第1節 6 動力設備工事 (4)	「エ その他」と記載がありますが 、ア～ウの項目以外の設備で必 要とお考えの設備はありますで しょうか。	その他については、本工事の受注 者と本組合との協議により決定す るものとします。

No.	資料名	頁	項目	質問内容	回答内容
62	技術提案仕様書	109	第5章 電気・計装設備工事 第1節 6. 動力設備工事 (5)	弊社では5秒以内の停電を瞬停と定義し、瞬停時は停電前の状態を維持するものといたします。設定値を超える場合は、停電として安全上の理由から設備は停止となります。 停電時起動する前処理、脱臭設備、建築設備等は自動的に発電機に切り替えて運転を維持します。復電に際しては、安全上の理由から、各機器の状態をご確認頂き手動で復旧して頂くことといたしますがよろしいでしょうか。	お見込みのとおりです。
63	技術提案仕様書	111	第5章 電気・計装設備工事 第2節 1. 監視制御方式 (3)	「中央では原則として次の項目について制御を行う。(ア)～(コ)の各項目でタイマー及び回転数調整、流量積算値等」とあります。本項では応募者(入札参加者)で必要な内容を選定することによろしいでしょうか。	お見込みのとおりです。
64	技術提案仕様書	111	第5章 第2節 1 監視制御方式 (3) ア(ケ)	流量積算値(風量)は風量測定口で可搬型により計測した風量値(手入力)と運転時間の乗算によるものとしてよろしいでしょうか。	お見込みのとおりでも可とします。
65	技術提案仕様書	111	第5章 第2節 1 監視制御方式 (3) ア(ケ)	脱臭ファンにはインバータを設ける必要がありますでしょうか。	インバータの設置が、本組合のし尿等要処理量の将来推移に伴う脱臭風量の低減や24時間運転中の脱臭風量の変換を行うなどして脱臭ファンの省エネ運転につながり、維持管理費の削減が期待できる場合はインバータの設置を計画してください。
66	技術提案仕様書	112	第5章 第2節 1 監視制御方式 (5)	電力デマンドや力率改善を確認できる画面を備えるものとして計画してよろしいでしょうか。	お見込みのとおりです。
67	技術提案仕様書	112	第5章 第2節 1 監視制御方式 (7) ア	④その他必要な箇所と記載がありますが、提案として宜しいでしょうか。	お見込みのとおりです。
68	技術提案仕様書	114	第5章 第2節 4 情報処理装置 (1) オ	(イ) 記録紙、トナー等消耗品、 (ウ) メディアの納入が各[3年分]とありますが、保証期間の2年分と読み替えてよろしいでしょうか。	お見込みのとおりです。
69	技術提案仕様書	115	第5章 第3節 1 非常用発電設備工事 (6)	非常用発電機に用いる燃料は、運用上1度に大量に搬入する機会がないものと考え、燃料タンクの容量によってはローリーによる搬入を計画しなくてもよろしいでしょうか。	お見込みのとおりです。

No.	資料名	頁	項目	質問内容	回答内容
70	技術提案仕様書	117	第6章 第1節 1 全体計画 (1)	「計画施設の地下部分の形状等により、設計図に示される構造物の寸法等が変わり、工事内訳書の金額が変更となる場合は、この金額を踏まえて入札に臨むこと。」とありますが、計画施設（処理棟）は弊社計画でお見積りするものとし、造成工事については「010. 新規用地敷地造成設計図書」に基づいてお見積りするという解釈でよろしいでしょうか。	1 全体計画（1）は、「010. 新規用地敷地造成設計図書は参考資料とし、応募者（入札参加者）が提案する計画施設の配置、地下部分の形状及び合理的な工事手順等を考慮の上、見直すものとし、これに応じた工事費を積算の上、入札に臨むこと。」に読み替えてください。 計画施設の建設工事の見積は、お見込みのとおりに応募者の提案により作成するとともに、造成工事費の見積も回答No. 107のとおりに応募者の提案により作成してください。
71	技術提案仕様書	118	第6章 第1節 1 工事範囲 (5)	土壌調査は貴組合にて行うと考えてよろしいでしょうか。	お見込みのとおりで。
72	技術提案仕様書	118	第6章 第1節 1 工事範囲 (5)	土壌調査は部分引き渡し（令和11年7月）までに実施し、同時期の解体工事開始までに調査結果が出ているものと考えてよろしいでしょうか。	土壌調査箇所は現施設水槽部の底部であり、解体工事の進捗に従い水槽底部に調査機材がアクセス可能な状態になってから試料採取を開始します。 試料採取から形質変更届提出までには、約3ヶ月を要すると考えます。土地の掘削開始は、原則その30日後となります。
73	技術提案仕様書	118	第6章 第1節 1 工事範囲 (5)	土壌調査の調査箇所を図面等でご教示願います。	土壌汚染対策法に基づく土壌汚染調査計画の抜粋（p6～11）を【添付資料②】に示します。槽の地下部分の土壌調査該当箇所は、p11表3-1のB2-1、-4、-7の3箇所であり、その位置はp7図3-2に示すとおりです。
74	技術提案仕様書	118	第6章 第1節 1 工事範囲 (5)	土壌調査期間中は、支障のない箇所で工事を進められると考えてよろしいでしょうか。	お見込みのとおりであり、土壌部分の改変を行わない工事であれば、実施可能です。
75	技術提案仕様書	119	第6章 第1節 2 留意事項 (15) 第6章 第2節 5一般構造計画(4)	仕様書に「内装材は原則として不燃または準不燃材料を使用する」とありますが、避難安全検証法等による性能的検証により、火災時に在館者の安全な避難が確保されることが立証できた場合、不燃・準不燃材料以外の内装材の使用は認められる余地がありますでしょうか。	お見込みのとおりで。
76	技術提案仕様書	123	第6章 第2節 5 一般構造等計画 (1) イ	「棟外部に緊急時のみ使用する連絡階段を設ける」とありますが、避難時に支障なく屋上へ避難できる場合は、屋内階段と兼用してもよろしいでしょうか。 ※夜間避難時は出入口扉を開錠できるようにし、避難エリア以外に立ち入りしないように区画を行い、屋内階段（屋上への避難階段と兼用）に出入りできるようにする。	屋上への連絡階段の仕様は、技術提案仕様書のとおりとします。

No.	資料名	頁	項目	質問内容	回答内容
77	技術提案仕様書	123	第6章 第2節 5 一般構造等計画 (1) オ	シャッター出入口に底を設けるようにとの記載がありますが、下記理由による箇所は、底を設置するか否かについては、各社提案としてもよろしいでしょうか。 ①車両や機器類の出入口（人の出入りを目的としないため、傘の開閉時に雨を避けるための底は不要） ②機器搬入開口（底があると、レッカーで吊った機器を開口近くに降ろせない。） ③構造躯体への負担増が見込まれる箇所。 P124 6. 建具計画(3)も同様。	底の設置については、応募者の提案を勘案の上、本工事の受注者と本組合との協議により決定するものとします。
78	技術提案仕様書	124	第6章 第2節 6 建具計画(3)	扉の材質について、防音や腐食などに対して同等以上の物であれば、各社提案としてもよろしいでしょうか。	お見込みのとおりです。
79	技術提案仕様書	124	第6章 第2節 6 建具計画(3)	プラントエリアは制御盤や機器配置などを考慮して「縦送り出し窓」を採用してもよろしいでしょうか。	お見込みのとおりでも可としますが、網戸が取付けられるものとしてください。
80	技術提案仕様書	124	第6章 第2節 6 建具計画(3)	車寄せスペースの乗降箇所には底は不要という解釈でよろしいでしょうか。	車寄せスペースの乗降箇所には、玄関の配置等により可能であれば底を設置するものとしてください。
81	技術提案仕様書	124	第6章 第2節 6 建具計画(3) (4)	仕様書に「カラーアルミサッシ」と「断熱サッシ」の双方が記載されていますが、断熱性能を満たすアルミサッシで統一して問題ありませんか。 断熱サッシ＝樹脂サッシを意図されている場合はご指示ください。	窓建具は、カラーアルミ製の場合、お見込みのとおり断熱性を満たすアルミサッシとします。
82	技術提案仕様書	124	第6章 第2節 6 建具計画(4)	処理エリアについても法的規制がかからない部分のガラスは網入りとしなくてもよろしいでしょうか。	お見込みのとおりです。
83	技術提案仕様書	124	第6章 第2節 6 建具計画(17)	側溝および集水桝の蓋はSUS製の指定となっておりますが、ステンレス製の蓋の規格は一般的にT-2～T-14までの取り扱いであり、T-25となる場合は特注対応となります。 また、ステンレス製は格子の交差部が溶接接合ではなく脆弱であるうえ、鉄に比べ弾性係数が低いため、たわみなどの変形が生じやすい傾向があります。 そのため、交差部が溶接接合かつステンレスよりも弾性係数が高くたわみなどの変形が生じにくい溶融亜鉛メッキ製とする方が望ましいと考えておりますが、SUS製の指定は必須でしょうか。	屋外の側溝及び集水桝の蓋は溶融亜鉛メッキ製とし、屋内の排水溝の蓋や目皿は、p124 5. (3) 床 ウに示すとおり、SUS製とします。 ※本質問の頁は、125に読み替えました。

No.	資料名	頁	項目	質問内容	回答内容
84	技術提案仕様書	125	第6章 土木・建設工事 第1節 7. 意匠計画 (2)	堅樋は意匠上支障のないよう十分配慮（壁と同色にする等）いたしますが、内堅樋（建屋内）にしなければなりませんでしょうか。	堅樋の納まりに規定はありません。応募者の提案とします。
85	技術提案仕様書	125	第6章 第2節 8 仕上げ計画 (1) カ	「外壁仕様は外装合成樹脂エマルジョン系厚付仕上げ塗材（石材調目地仕上）を基本とし」とありますが、耐用年数を考慮し、各社提案としてもよろしいでしょうか。	耐用年数等について、同等以上の仕様であれば、お見込みのとおりでも可とします。
86	技術提案仕様書	126	第6章 第2節 8 仕上げ計画 (1) ケ	「軒天、軒裏仕上げは、フレキシブルボードを基本とする。」とありますが、同等以上のもので各社提案としてもよろしいでしょうか。	フレキシブルボードと同等以上のものであれば、お見込みのとおりでも可とします。
87	技術提案仕様書	126	第6章 第2節 8 仕上げ計画 (2) ア	別添資料009. 汚泥再生処理棟 内部仕上げ表を参考とし、各社で提案するものと考えてよろしいでしょうか。	内部仕上げについては、応募者による同等以上の仕様の提案を勘案の上、本工事の受注者と本組合との協議により決定するものとしします。
88	技術提案仕様書	127	第6章 第2節 8 仕上げ計画 (3) イ	出隅部に膜厚不足とならず、同等の効果を確保できる工法を採用することで、オーバーレイ処理を省略する計画としてもよろしいでしょうか。	オーバーレイ処理については、応募者の提案を勘案の上、本工事の受注者と本組合との協議により決定するものとししますので、提案がある場合は設計仕様書に記載してください。
89	技術提案仕様書	127	第6章 第2節 8 仕上げ計画 (3) エ	点検時に水槽を空にする作業は、第1章 第5節 3 (6)のとおり、貴組合所掌と考えてよろしいでしょうか。	お見込みのとおりです。
90	技術提案仕様書	127	第6章 第2節 9 汚泥再生処理棟計画 (4)	効率的な配置になるように地階から2階までの階段を2カ所、1階から2階までの階段を1カ所として各社提案の配置で計画してよろしいでしょうか。	階段は、技術提案仕様書に記載のとおりとし、配置については各社提案の提案によるものとしします。
91	技術提案仕様書	129	第6章 第2節 9 汚泥再生処理棟計画 (29)	出入口には、止水板や防水扉のどちらかで止水性能を確保する対策を行うものと考えてよろしいでしょうか。	お見込みのとおりです。
92	技術提案仕様書	130	第6章 第2節 10 処理エリア各室配置計画 (2) カ	ホッパ室はし渣・助燃剤搬出車（P38記載の4t車）のみの出入りで考えてよろしいでしょうか。	お見込みのとおりです。
93	技術提案仕様書	130	第6章 第2節 10 処理エリア各室配置計画 (3) ア	槽上部室にシャッターを備え、槽上部室を経由して工作室兼倉庫に搬入できる時、工作室兼倉庫にはシャッターではなく両開き扉を備える計画としてもよろしいでしょうか。	お見込みのとおりでも可とします。
94	技術提案仕様書	130	第6章 第2節 10 処理エリア各室配置計画 (4) ウ	手洗い器等は前室近傍に備える計画としてもよろしいでしょうか。	お見込みのとおりです。

No.	資料名	頁	項目	質問内容	回答内容
95	技術提案仕様書	131	第6章 第2節 11 管理エリア各室配置計画 (4) ア	駐車場の配置から、来客用玄関と職員用及び施設運転員用玄関が近傍となる時、これを兼用として計画としてもよろしいでしょうか。	玄関の計画は、駐車場等の関連設備の配置を勘案するなどして、本工事の受注者と本組合との協議により決定するものとします。
96	技術提案仕様書	132	第6章 第2節 12 各室の配置及び面積 (1)	受入室用の便所は、内部仕上げ表のとおり男女兼用で計画してもよろしいでしょうか。	受入室用の便所は、男女別としますので内部仕上げ表を読み替えてください。
97	技術提案仕様書	132	第6章 第2節 12 各室の配置及び面積 (1)	施設運転員用の便所は、管理エリアのものと共用として計画してもよろしいでしょうか。	お見込みのとおりです。
98	技術提案仕様書	132	第6章 第2節 12 各室の配置及び面積 (2)	事務室と運転管理室や大会議室の設置階が異なる場合でも、湯沸室は事務室に隣接する湯沸室のみでよろしいでしょうか。	お見込みのとおりです。
99	技術提案仕様書	134	第6章 第3節 3 土木工事 (6)	残土の流用場所までの距離や所要時間をご教授いただけますでしょうか。 また、残土の受入れ日時などの制約がある場合は併せてご教授いただけますでしょうか。 P144 第7章付帯工事 1敷地造成工事 (5) 同様	残土は、本組合構成市町村内での流用が困難となったことから、受注者の負担により場外処分するものとして造成工事の計画設計を行い工事費を見積もってください。
100	技術提案仕様書	135	第6章 土木・建設工事 第3節 7. 防水工事 (2)	水張試験の水は施設 井戸水を無償支給とさせていただいてよろしいでしょうか？	お見込みのとおりです。
101	技術提案仕様書	136	第6章 第3節 11 その他 (1)	休日及びその作業については、第1章 第11節 12 を基本と考えてよろしいでしょうか。 (第9章 解体工事も同様)	お見込みのとおりです。 本質問の内容のうち、第1章 第1節 の「12」は「13」に読み替えました。
102	技術提案仕様書	141	第6章 第5節 3 太陽光発電設備	「通常の電源と切替可能なものとする」とありますが、悪天候時や夜間に支障なく商用電源で利用できるものと考えてよろしいでしょうか。	お見込みのとおりです。
103	技術提案仕様書	141	第6章 第5節 3 太陽光発電設備 オ ウ	モデルとなる部屋は、事務室及び中央監視室を基本とし、他の部屋に関しては各社提案としてもよろしいでしょうか。	お見込みのとおりでも可とします。
104	技術提案仕様書	143	第6章 土木・建設工事 第5節 4. その他建築 付帯電気設備 (5) エ	避雷針を設置する場合とは、建築基準法及び消防法により設置する場合のみと考えてよろしいでしょうか。	避雷設備(避雷針)は地域の落雷のリスクを勘案して、自主的に設置するものとします。 なお、()書きのJIS規格は、JIS Z 9209-3:2019に訂正します。
105	技術提案仕様書	144	第7章 付帯工事 1. 敷地造成工事	新施設建設において、土留めが必要となった場合、残置でもよろしいでしょうか	土留めは、地盤の健全性・安定性を維持する又は撤去した場合の周辺環境への悪影響を防止する場合を除き撤去とします。

No.	資料名	頁	項目	質問内容	回答内容
106	技術提案仕様書	144	第7章 付帯工事 1. 敷地造成工事	新設エリア掘削土は、既施設解体撤去後の埋め戻し土として使用することと考えています。 組合構成市町村所有 残土置場に仮置きさせていただくことは可能でしょうか？その場合、残土指定置場までの距離をご教示ください。	本組合構成市町村が管理している残土置場の使用は困難ですので、必要な場合は受注者にて調達してください。
107	技術提案仕様書	144	第7章 1 敷地造成工事 (1)	造成費用については、公告添付資料「010. 新規用地敷地造成設計図書」に基づきお見積もりを行い、受注後に実施設計により変更が生じた場合は、最終計画案との差額を増減精算する認識でよろしいでしょうか。(土工・擁壁・調整池・排水構造物など付帯する工種も含めて精算対象)	添付資料010. 新規用地敷地造成設計図書は参考資料とし、応募者が提案する計画施設の配置及び稼働等に必要な造成設計(土工・擁壁・調整池・排水構造物等の付帯工を含む)を行うことにより、造成費用の見積を行ってください。 関連して、様式8-1 工事内訳書 付帯工事費 1. 付帯工事の 3) 場内整備工事(実施設計)は、「3) 場内整備工事(参考資料)」に読み替えてください。
108	技術提案仕様書	144	第7章 1 敷地造成工事 (1)	敷地造成工事の精算対象は部分引き渡し時の現施設南側新規用地の範囲と考えてよろしいでしょうか。 現施設解体後にその跡地を利用する時、その範囲も精算対象に含まれるものと考えてよろしいでしょうか。	添付資料010. 新規用地敷地造成設計図書は参考資料とし、計画施設の建設工事及び敷地造成工事を設計・施工一括発注方式(性能発注方式)として発注することとしますので、敷地造成工事の清算は発生しないことをご承知おください。 なお、【様式8-2】仁淀川下流衛生事務組合衛生センター敷地造成工事 工事費内訳書は、応募者の見積設計をもとに作成して提出してください。
109	技術提案仕様書	144	第7章 1 敷地造成工事 (1)	現施設解体後の跡地が精算対象となると、提出する計画図面の造成範囲が広い場合見積金額とは整合が取れませんが、問題ございませんでしょうか。	回答No. 108を参照してください。
110	技術提案仕様書	144	第7章 1 敷地造成工事 (4)	建設発生土が現場内および現場近くに仮置きができない場合や有効利用に適さない土質であった場合等は、受注者の負担により場外処分としてもいいでしょうか。	お見込みのとおりです。
111	技術提案仕様書	146	第7章 3 場内整備工事 (4) エ	インターロッキング舗装は経年により、割れや不陸ができます。歩道部は車道部と色を変える、または、縁石で車道より高くする等、歩道部の仕様は各社提案としてもよろしいでしょうか。	歩道部はインターロッキング舗装もしくは同等以上の仕様(美観、耐久性等)とし、各社の提案とします。
112	技術提案仕様書	146	第7章 3 場内整備工事 (4) オ	歩行者と車両の動線が明確に分離可能であれば、車止めやチェーン等ではなく、ライン引き等で区画するなど各社提案としてもよろしいでしょうか。	技術提案仕様書に記載のとおりとします。
113	技術提案仕様書	146	第7章 3 場内整備工事 (5)	擁壁、雨水貯留槽下部の改良は図面の通り不要と考えてよろしいでしょうか。	土質解析の結果、改良不要と判断しています。

No.	資料名	頁	項目	質問内容	回答内容
114	技術提案仕様書	146	第7章 付帯工事 3. (7) 植栽・芝張工事	緑地-2に該当する面積は、別添資料010. 新規用地敷地造成設計図書4/17図に示す既設設備跡地も含めた開発区域内で配置できればよろしいでしょうか。	4/17図に示される緑地-1も対象とする場合は、その部分も開発区域となります。開発区域が広がるとその部分の雨水排水の流量調整も行う必要があるため、地下貯留施設の規模もその分だけ大きくなります。地下貯留施設の形状寸法は計画施設の配置等に影響するため、開発区域の範囲についてはこのことを踏まえて合理的に計画するように留意してください。
115	技術提案仕様書	148	第7章 第4節 4 雑用水槽築造工事 4.1(4)エ	雑用水として利用する液がSSや臭気を含まず、攪拌・脱臭が不要と考えられるとき、これらを不要として計画してもよろしいでしょうか。	技術提案仕様書に記載のとおり、必要に応じて計画するものとしてください。
116	技術提案仕様書	151	第8章 第1節 6, 7, 8 工作機械類 作業工具類 測定検査器具 第2節 試験室設備	これらの設備、機器類は点検補修費の対象外と考えてよろしいでしょうか。	お見込みのとおりです。
117	技術提案仕様書	152	第8章 第3節 2 消耗品	破碎機の切刃等、研磨によって再利用できる部品がある時、納入する消耗品の数量は研磨による再利用を考慮した数量でよろしいでしょうか。	お見込みのとおりです。
118	技術提案仕様書	152	第8章 第3節 2、3	消耗品・消耗資材の該当品が、正式引き渡し後2年間分となっていますが、部分引き渡し後2年間分と読み替えてよろしいでしょうか。	お見込みのとおりです。
119	技術提案仕様書	153	第8章 第3節 3 消耗資材 (6)	非常用発電機に使用する燃料も対象外と考えてよろしいでしょうか。	お見込みのとおりです。
120	技術提案仕様書	156	第9章 解体・撤去工事 第1節総則 3. 解体・撤去工事概要	仕様書では、原則、旧施設に関連するものは全て撤去とされていますが、解体・撤去することにより、周辺構造物等に支障を及ぼす可能性がある地下構造物の残置可となっております。 現地調査で工事用土留めを設置せず仕様書記載の範囲の残置とした場合、水槽耐圧板撤去後地下水が流入し、東側などの残置した壁が道路側に転倒する可能性も十分に考えられます。 そこで、地下側壁、底板（耐圧板）を残置し、GL-2000までは全撤去として残置物は図示し記録することによろしいでしょうか？	構造物の残置については、令和3年9月30日付で環境省より通知された「第12回再生可能エネルギー等に関する規制等の総点検タスクフォースを踏まえた廃棄物の処理及び清掃に関する法律の適用に係る解釈の明確化について」の第3 地下工作物の取扱いについてに従い行うことを基本とし、本工事の受注者と本組合との協議によりその詳細を決定するものとします。

No.	資料名	頁	項目	質問内容	回答内容
121	技術提案仕様書	156	第9章 解体・撤去工事 第1節総則 3. 解体・撤去工事概要	上記残置が不可の場合、仕様書内の残置可とする施工範囲については、以下のお考えでよろしいでしょうか。 ①東側 地下構造物を 11通りより西側に3500程度残置とすることとします。沈殿槽部も同様とします。 ②北側 トラックスケール躯体は残置とします。上部面をはつり舗装仕上で考えます。水路に面する擁壁(ガードレール、桜を含む。)等についても残置とします。 ③西側 擁壁部についても残置とします。 ④堆肥ピット 堆肥化設備も東側と同様にX1通りから東側に3500程度残置とします。	回答No. 120に同じ
122	技術提案仕様書	156 192	第9章 第1節 3 解体・撤去工事概要 第9章 第6節 15 解体・撤去跡地整備 (1)	地盤レベル計画(切土・盛土)は各社提案と考えてよろしいでしょうか。	お見込みのとおりです。
123	技術提案仕様書	156	第9章 解体・撤去工事 第1節総則 4. 解体・撤去工事内容	竣工時の土木建築工事(処理施設及び受入棟)に関する数量表をいただけますでしょうか。	関係図書を準備しましたので、閲覧等を希望する場合は事務局に申し出てください。
124	技術提案仕様書	156	第9章 解体・撤去工事 第1節総則 4. 解体・撤去工事内容	(エ) 地下躯体解体工事(地盤改良(セメント系)部分を含む。)の内、地盤改良部分の撤去について確認します。 ①受入室棟 地盤改良長については、受入室棟地盤改良範囲図面(A-98-051)の図示いただいている寸法で考え地盤改良長は、概ね3～5m程度でよろしいでしょうか。 ②し尿貯留槽下地盤改良部 $N \geq 30$ 以上のところを支持層として考えられていますが、近傍のNo. 1土質ボーリング柱状図から、基準面より-5.0mを想定しますがよろしいでしょうか。その場合、地盤改良長は、概ね3～5.5m程度でよろしいでしょうか。	当該施設の建設から40年以上を経過しており、建設当時の詳細な記録が残っておりません。よって、別添資料で提供している図面及び今回の質問回答で追加閲覧とする図面をもとに計画してください。
125	技術提案仕様書	156	第9章 第1節 4 解体・撤去工事内容	備品・工具類及び残置物の撤去が工事範囲となっていますが、解体工事に着工する前に、貴組合で新施設で利用する図書、物品は移動済(当社所掌外)と考えてよろしいでしょうか。	お見込みのとおりです。

No.	資料名	頁	項目	質問内容	回答内容
126	技術提案仕様書	156 193	第9章 第1節 4 解体・撤去工事内容 第9章 第7節 1 一般事項 (8) カ	環境省「建築物の解体時等における残置物の取扱いについて（通知）」のとおり、残置物（家具、薬品、タンク内残留物含む）の処分責任は貴組合となります。 当社の施工範囲としては、残置物の場内指定場所までの運搬を指すものと考えてよろしいでしょうか。 または、貴組合にて行った産廃処分の費用負担と考えればよろしいでしょうか。 後者の場合、見込まれる什器や薬品の量をご教授願えますでしょうか。	施設内残留物の処分及び洗浄等は、技術提案仕様書p194 第9章 第7節 1一般事項 (8) カに記載のとおり、受注者の負担にて行うものとし、見込まれる什器及び薬品の量は以下のとおりとします。 【什器】 事務机20台、椅子20脚、書棚20台、応接セット1式 【薬品】 薬品は、別添資料011-2. 竣工図（機器据付配管図）の図番P-98-021薬注設備に示される各タンク容量の1/4程度が残留しているものと想定してください。
127	技術提案仕様書	173	第9章 第3節 1 一般事項 (7)	応札時においては調査費を見込み、第9章 第8節 3のとおり処理・処分費については応札金額に含まず、調査結果で含有が確認された場合にはご協議いただけたと考えてよろしいでしょうか。	お見込みのとおりです。
128	技術提案仕様書	181	第9章 第5節 2 解体作業管理区域の設定	既設敷地南西の倉庫棟の図面をご提供願います。 また、アスベスト調査結果も合わせてご提供願います。	図面は残されておりません。 参考として、倉庫の概略仕様を以下に示します。 ・構造：軽量鉄骨造 ・屋根及び壁材：ガルバリウム鋼板製波板 ・寸法：約12.5m(W) ×約6.5m(D) ×約3.5m(H(軒高)) ・シャッター：幅2.7m×2式
129	技術提案仕様書	193	第9章 第7節 1 一般事項 (4)	水銀が使用されている可能性のある箇所（分析器具、水銀灯、ランプ等）があればご教授ください。	水銀灯が使用されている箇所は以下のとおりです。 ・焼却炉室／天井付け：4か所 ・汚泥堆肥化設備棟(地階)／壁付け：3か所(投光器)
130	技術提案仕様書	197	第9章 第8節 3 PCB (1)	変圧器、スチールドアの塗装以外にPCB等有害物質が含有している可能性がある箇所はありますでしょうか。	お見込みの有害物質が含有されている箇所は、これまでの調査では確認されておりません。
131	技術提案仕様書	199	第9章 第9節 8 付帯設備撤去工	門扉は撤去後新たに門扉を設置する必要はないと考えてよろしいでしょうか。	現施設敷地用の門扉は不要です。
132	技術提案仕様書 (別添資料)		010. 新規用地敷地造成設計図書 010-1. 設計図面	原則として、南側新規用地に関しては全てFH+8.5まで造成すると考えてよろしいでしょうか。 動線上不要な範囲に関しては現GLのままで計画してもよろしいでしょうか。	お見込みのとおりとしますが、高知県中央西土木事務所と協議を行い、必要な対応をおこなってください。
133	技術提案仕様書 (別添資料)		010. 新規用地敷地造成設計図書 010-1. 設計図面	擁壁で計画されている範囲に関して、法面で計画してもよろしいでしょうか。 また、法面で計画されている箇所についても、擁壁で計画してもよろしいでしょうか。	回答No. 132に同じ。

No.	資料名	頁	項目	質問内容	回答内容
134	技術提案仕様書 (別添資料)		010. 新規用地敷地造成設計図書 010-1. 設計図面	DXFデータ 01_計画平面図の「外郭線(設計)」が、敷地境界線と考えてよろしいでしょうか。	お見込みのとおりです。
135	技術提案仕様書 (別添資料)		010. 新規用地敷地造成設計図書 010-1. 設計図面	設計図面の17/17 土留壁ですが、根入れ深さをご教授願います。	完成図等存在しないため一般的な根入れ深さとして50cm程度を見込んでいます。前面舗装との高低差が1.7m程度ですので全高2.2mとしました。取り壊し断面はあくまでも想定です。
136	技術提案仕様書 (別添資料)		010-1 設計図面 010-3 敷地造成工事費(金抜)	設計図面14/17地下貯留施設の、数量詳細内訳がございません。本体材料・製品名等ご教示頂けないでしょうか。	本設計で採用している地下貯留施設は、「ジオプールの工法AE-1」と呼ばれる製品です。本施設はAE-1(容材)ブロックを積み上げた構造で、これを遮水シートおよび保護シートで覆って雨水貯留機能を持たせています。 参考図を【添付資料③】に示しますが、設計図面の寸法に合致していないことに留意してください。
137	技術提案仕様書 (別添資料)		011. 現施設主要設備・機器リスト、竣工図 011-4 竣工図(土木建築図)	撤去工事の内容を詳細検討するため、下記の例を含む全ページのご提示または閲覧をお願いします。 ・特記仕様書 ・各種詳細図等 ・床伏図・部材リスト ・建築機械設備図 など	関係図書を準備しましたので、閲覧等を希望する場合は事務局に申し出てください。
138	技術提案仕様書 (別添資料)		011. 現施設主要設備・機器リスト、竣工図 011-5 竣工図(土木建築図)	撤去工事の内容を詳細検討するため、下記の例を含む全ページのご提示または閲覧をお願いします。 ・既設敷地の地質調査(柱状図) など	・No. 137に同じ。 ・地質調査結果については、【添付資料④】を参照してください。
139	技術提案仕様書 (別添資料)		011. 現施設主要設備・機器リスト、竣工図	撤去工事の内容を詳細検討するため、下記の図面のご提供をお願いします。 ・耐震補強工事の図面 ・東(市道)側 道路拡張工事時の擁壁図面 ・倉庫棟	・No. 137に同じ。 ・道路拡張工事の擁壁図面等は、【添付資料⑤】を参照してください。